

論文

初期中国語訳聖書における介詞と連詞の 用法に関する一考察

塩山正純

要 旨

R.モリソン(1782-1834)は、プロテスタントの宣教師として最初に中国に渡来し、聖書の中国語訳、英華・華英字典の編纂、中国語研究の3つの仕事を成し遂げた。その1つ聖書の中国語訳が『神天聖書』(1823)である。中国語訳聖書の文体の分類で、『神天聖書』は所謂「文理(Wenli, High Wenli)」に入れられる。しかし、モリソンは翻訳にあたり、「忠実で、明快で、単純であることを心がけ、古典のことばよりも、ふつうのことばを選び、洗練より分かりやすさを取った」と言い、また『三国志演義』のような文体がふさわしい、とも考えていた。本稿では、『神天聖書』の4福音書を中心に、『聖經直解』、『四史攸編』、『救世主耶穌新遺詔書』(モリソン改訳)、『新約全書』(ブリッジマン・カルバートソン訳、以下本稿ではBC訳と简称)との比較対照を通して、初期中国語訳聖書における共同を表す介詞、名詞・動詞を連結する連詞の用例について考察した。なお、モリソンの『神天聖書』4福音書については1813年刊『新遺詔書』に収録されたものを資料として使用し、「使徒行傳」の資料としては、1823年刊『神天聖書』を使用した。『新遺詔書』と『神天聖書』は全体を通して若干語彙の異同があるが、版本間の異同に関しては、今後の課題としておく。

キーワード：中国語訳聖書、漢訳聖書、モリソン、神天聖書、虚詞、連詞、介詞

1 介詞 共同を表わすもの

初期の中国語訳聖書では、介詞と連詞の使い方にも、時代を追って変化があった。

まず、共同を表す介詞について、『聖經直解』から『聖經』までの4福音書全文とそれに相当する部分での用例数は以下の通りである。下表からもわかるように、共同を表す介詞については、『聖經直解』から『聖經』までいずれの聖書でも、白話要素の強い“和, 跟, 合”は1例も使用されておらず, “同”と“與”が使用されている。

	和	跟	合	同	與
聖經直解	—	—	—	8	8
四史攸編	—	—	—	11	37
神天聖書	—	—	—	72	42
聖經	—	—	—	46	36

1) 『聖經直解』

(1) “同”の用例は以下のとおりである。なお、本稿の『聖經直解』の用例番号は、巻数・経数・節の順序・4福音書の該当するものの章・節の順序である。また全ての資料について、Mはマタイ、Maはマルコ、Lはルカ、Jはヨハネを表す。

2-2-10-L2-51 時同伊下返納匠肋德而屬下之維茲眾辭母畜酒心

2-4-11-M8-11 並語爾自東自西有多人來同亞巴浪義撒雅各宴於天堂

5-2-1-M26-30 耶穌同厥門徒出往責多亂溪後

5-2-40-J18-15 伯鐸羅及他徒遠跡隨耶穌掌教者熟識是徒因同耶穌得進在掌教之擘

6-3-8-L24-44 餽分與謂予同汝居時已云每瑟及先知聖人指予所記必當一一悉符

(2) “與”の用例は以下のとおりである。

5-2-54-M26-64 耶穌謂之曰爾言是我又與爾說異日爾目將見人子坐天主右乘雲降來

6-3-1-L24-36 維時耶穌歿現立徒中語曰予平安居與爾偕焉

6-7-2-J16-17 徒中或互謂曰師與我等說未時弗得見予未時復德見予因將詣予父

6-15-3-M28-20 教守諸端若予命于爾予恆居與爾偕至今世沒

9-1-3-L1-28 神入室朝曰亞物滿被額辣濟亞者主與爾偕焉女中爾為讚美

2) 『四史攸編』

四史攸編	和	跟	合	同	與
全文	—	—	—	11	37
Matthew	—	—	—	2	11
Mark	—	—	—	3	2
Luke	—	—	—	3	5
John	—	—	—	3	19

(1) “同” の用例は以下のとおりである。なお本稿の『四史攸編』の用例番号は章・節の順序・4福音書の該当するものの章・節の順序である。

- 12-6-M20-20 比時責伯陡子之母同二子進拜崇求恩
 17-3-M8-11 且語爾自東自西將來必多同阿巴郎依撒雅各席于天國
 26-4-Ma14-42 汝起同我往將付我者已近矣
 27-13-L23-40 他賊責之曰爾同之受是刑猶不畏神
 27-19-J19-32 卒因先斷折第一及第二同耶穌被釘者之脛

(2) “與” の用例は以下のとおりである。

- 7-2-M9-10 會耶穌席于厥室稅吏及罪人多來與耶穌及厥徒同席
 8-4-M12-46 其講未已厥母與弟兄立于外欲與之言
 14-1-J4-26 耶穌語之曰就是我與爾言者也
 14-1-J4-27 厥徒方到而奇伊與婦言然無與之曰何問何言之
 28-9-L24-32 互謂曰其在路與我等談解經時吾心莫不燃耶

3) 『神天聖書』と『聖經』

神天聖書	和	跟	合	同	與
4福音書	—	—	—	72	42
Matthew	—	—	—	20	9
Mark	—	—	—	17	7
Luke	—	—	—	23	15
John	—	—	—	12	11

聖經	和	跟	合	同	與
4福音書	—	—	—	46	36
Matthew	—	—	—	13	14
Mark	—	—	—	15	6
Luke	—	—	—	11	9
John	—	—	—	7	7

『神天聖書』では、“跟”は、「ヨハネの福音書」に1例のみ名詞「かかと」の意味の用例がある。“合”はすべて動詞としての用例である。また、『聖經』では「ルカの福音書」に“跟”が1例だけあるが、これは動詞「つく、従う」の意味である。また、“合”はすべて動詞としての用例である。なお本稿の『神天聖書』『聖經』モリソン改訳、BC訳の用例番号は4福音書とその章・節の順序である。

L23-55 自加利利隨耶穌來之歸亦跟若色弗看墓及如何置其身

(1) “同”の用例は以下のとおりである。なお、用例はいずれも『神天聖書』と『聖經』の同一の章節のものを併せて挙げておく。介詞の“同”だけでなく、全体として翻訳された中国語がほぼ同じであることが分かる。

- 1 【神】 M5-28 惟我語爾知凡視看婦致懷邪慾向之則在心已同之行姦
【聖】 M5-28 惟我語爾知凡視婦人致懷邪慾向之則在心已同之行姦
- 2 【神】 M25-19 後好久該僕之主回來而同伊等算帳
【聖】 M25-19 後許久該僕之主回來而同伊等算帳
- 3 【神】 Ma1-29 伊等出公所時即同者米士及若翰進西們與安得路之房屋
【聖】 Ma1-29 伊等既出公所即同者米士及若翰進西們與安得路之家
- 4 【神】 L23-43 耶穌謂之曰今日爾將同我在巴拉氏士
【聖】 L23-43 耶穌謂之曰我確告汝今日汝將同我在巴拉氏士
- 5 【神】 J3-22 斯情後耶穌同厥門徒來如氏亞方且偕伊等在彼施洗
【聖】 J3-22 斯情後耶穌同厥門徒來如氏亞方而偕伊等在彼施蘸

上記の用例について、原典（英語）の該当部分は上から順にそれぞれ次の通りである⁽¹⁾。

M5-28) But I say to you that everyone who looks at a woman with lust has already committed adultery with her in his heart.

初期中国語訳聖書における介詞と連詞の用法に関する一考察

M25-19) After a long time the master of those slaves came and settled accounts with them.

Ma1-29) As soon as they left the synagogue, they entered the house of Simon and Andrew, with James and John.

L23-43) He replied, “Truly tell you, today you will be with me in Paradise.”

J3-22) After this Jesus and his disciples went into the Judean countryside, and he spent some time there with them and baptized.

さらに、上記の用例は上から順に、モリソン改訳では、“行姦”、“與僕對數”、“帶～同進”、“爾必偕我在天樂園矣”、“帶～來”となり、BC訳では“已與之淫矣”、“與之計會”、“偕雅各與約翰進”、“爾必偕我在樂園矣”、“與門徒至”に改められている。

書章節	四史攸編	神天聖書	聖經	モリソン改訳	BC訳
M5-28	姦之	同之行姦	同之行姦	行姦	已與之淫
M25-19	—	同伊等算帳	同伊等算帳	與僕對數	與之計會
Ma1-29	—	同～及～進	同～及～進	帶～同進	偕雅各與約翰進
L23-43	同我必在樂域	同我在巴拉氏士	同我在巴拉氏士	爾必偕我在天樂園	爾必偕我在樂園
J3-22	與厥徒來	同厥門徒來	同厥門徒來	帶～來	與門徒至

(2) “與”の用例は以下のとおりである。なお、用例はいずれも『神天聖書』と『聖經』の同一の章節のものを併せて挙げておく。介詞の“與”だけでなく、翻訳された中国語が全体としてほぼ同じであることが分かる。

- 1 【神】 M9-10 遇耶穌在家席時有多徵餉者並得罪神輩來偕之與厥門徒同席
【聖】 M9-10 曾耶穌在家席時有多徵餉者並得罪神者來偕之與厥門徒同席
- 2 【神】 Ma9-14 其既就厥門徒見大眾圍伊等而書士輩與伊等辯論
【聖】 Ma9-14 其既就厥門徒見大眾圍伊等而書士輩與伊等辯論
- 3 【神】 L9-30 夫有二人與彼講乃是摩西及以來者
【聖】 L9-30 卻有兩人與他講乃是摩西及以來者
- 4 【神】 L21-29 耶穌又講比喻與伊等曰看無花果樹與各樹
【聖】 L21-29 耶穌又設比方與伊等曰觀彼無花果 # 樹與各樹
- 5 【神】 J4-27 厥徒方到而奇因其與婦相言惟無人曰爾何求也或爾為何與他講也
【聖】 J4-27 語間厥徒至而奇其與婦相講惟無人曰爾何求也或爾因何與他講也

上記の用例について、原典（英語）の該当部分は上から順にそれぞれ次の通りである。

- M9-10) And as he sat at dinner in the house, many tax collectors and sinners came and were sitting with him and his disciples.
 Ma9-14) When they came to the disciples, they saw a great crowd around them, and some scribes arguing with them.
 L9-30) Suddenly they saw two men, Moses and Elijah, talking to him.
 L21-29) Then he told them a parable: “Look at the fig tree and all the trees.”
 J4-27) Just then his disciples came. They were astonished that he was speaking with a woman, but no one said, “What do you want?” or, “Why are you speaking with her?”

さらに、上記の用例は、モリソン改訳、BC訳では下表のように改められている。

書章節	四史攸編	神天聖書	聖經	モリソン改訳	BC訳
M9-10	與耶穌及厥徒同席	偕之與厥門徒同席	偕之與厥門徒同席	同耶穌及門人同席	偕耶穌及其門徒席坐
Ma9-14	—	書士輩與伊等辯論	書士輩與伊等辯論	書士輩辯論	士子與之辯論
L9-30	—	二人與彼講	兩人與彼講	有二人與耶穌談論	有二人與之言
L21-29	曰	耶穌又講比喻與伊等曰	耶穌又設比方與伊等曰	耶穌又言此喻曰	耶穌遂設譬謂之曰
J4-27	伊與婦言…何言之	其與婦相言…為何與他講	其與婦相講…因何與他講	耶穌與婦談論…因何與婦言	耶穌與婦言…爾胡為與婦言

2 連詞 名詞, 動詞を連結するもの

名詞, 動詞を連結する連詞について、『聖經直解』から『聖經』までの4福音書全文とそれに相当する部分での用例数は以下の通りである。

	同	與	及	和	合	連
聖經直解	—	—	46	—	—	—
四史攸編	—	80	73	—	—	2
神天聖書	29	170	218	—	—	13
聖經	20	195	201	—	—	15

初期中国語訳聖書における介詞と連詞の用法に関する一考察

『聖經直解』では、名詞、動詞（句）を連結する連詞は“及”のみであった。『四史攸編』では、これに加えて“與”が使われるようになり、用例数はほぼ半々となる。『神天聖書』、『聖經』ではさらに“同”も使われるようになるが、“及”と“與”に比べて用例が少ない。おなじく“連”も使われるが用例は少ない。いずれも“和”と“合”は使われていない。

1) 『聖經直解』

連詞としての“及”の用例は以下のとおりである。

- 4-4-11-J6-11 耶穌將餅及魚祝謝天主後隨眾欲分散
 5-2-43-M26-59 撒責者首及會集者眾皆推究希獲妄證陷以死刑
 6-1-1-Ma16-1 維時瑪利亞瑪達肋納及瑪利亞雅各伯及撒落默市香料欲往抹傅耶穌
 6-15-2-M28-19 汝輩往誨萬民付聖水因父及子及聖神之名者
 10-1-2-M1-2 亞巴郎生依撒是生雅各是生如達及其昆仲

『聖經直解』の用例はすべて“及”である。“同”と“與”は動詞のほかは介詞の用例しかなく、『聖經直解』では、介詞には“同”と“與”，連詞には“及”という使い分けがさかれていたと言える。なお，“和”が使われるのは“向～求和”“和睦者”のみで，“合”は動詞の用例のみである。また，“連”の用例は“晝夜連四旬”，“喊聲連天”である。

2) 『四史攸編』：

神天聖書	同	與	及	和	合	連
4福音書	—	80	73	—	—	2
Matthew	—	40	23	—	—	—
Mark	—	1	5	—	—	1
Luke	—	20	19	—	—	1
John	—	19	26	—	—	—

(1) “及”の用例は以下のとおりである。

- 7-2-M9-11 法吏叟輩視謂厥徒曰汝師何與稅吏及罪人同席
 18-1-M23-2 書士及法吏叟既坐于每瑟座上
 26-14-Ma14-55 鐸德諸宗及餘集者求証以陷死耶穌而弗得
 15-4-L15-2 法吏叟及書士輩讒曰其納罪人交飲食
 21-3-J11-5 耶穌乃愛瑪爾大及厥妹瑪利亞及辣匝落

(2) “與” の用例は以下のとおりである。

- 3-3-M2-14 若瑟即夜起攜嬰與厥母遁往厄日多
 28-1-M27-62 是日鐸德諸宗與法吏叟輩齊進于比辣多日
 27-5-L23-13 比辣多乃召鐸德諸宗與老長及民
 27-13-L23-41 我與爾所受之刑以素行該受其乃無惡行
 14-1-J4-36 獲刈者受報而積實于常生且種者與刈者皆同樂矣

さきの『聖經直解』では、連詞は“及”のみであったが、『四史攸編』では、これに“與”が加わり、用例数は各々、73例と80例で、ほぼ同じ頻度で使われているが、使い分けは見られない。

(3) “連” の用例は以下のとおりである。

- 22-14-Ma12-33 且愛之以全心以全明以全魂以全力連愛邇人如己大過于諸燼犧及餘祭也
 28-3-L24-1 撒罷一日絕早伊等帶所備之香液詣墓路加二十三連二十四章

1例目は2つの動詞“愛”を連結するものであり、2例目は抄訳部分を示す注記での用例で、本文中の用例ではないが、名詞を連結するものである。

3) 『神天聖書』と『聖經』

神天聖書	同	與	及	和	合	連
4福音書	29	170	218	—	—	13
Matthew	14	61	40	—	—	8
Mark	10	39	39	—	—	3
Luke	1	52	117	—	—	2
John	4	18	22	—	—	0

聖經	同	與	及	和	合	連
4福音書	20	195	201	—	—	15
Matthew	6	67	42	—	—	10
Mark	10	40	33	—	—	2
Luke	1	67	104	—	—	1
John	3	21	22	—	—	2

(1) “同” の用例は以下のとおりである。用例はいずれも『神天聖書』と『聖經』の同一

初期中国語訳聖書における介詞と連詞の用法に関する一考察

の章節のものを併せて挙げておく。なお、4例目の文中にある“#”は直前の語句に口偏があることを示す。以下、本稿中の例文は同様の扱いとする。

- 1 【神】 M10-15 我確語爾知比該邑於審判之日所多馬同我摩拉之情形更可堪也
【聖】 M10-15 我確言爾知於審判之日所羅馬同我摩拉之情形比該邑者更可堪也
- 2 【神】 Ma1-16 夫走加利利海邊時見西們同安得路厥弟兄投網進海蓋伊等為打魚者
【聖】 Ma1-16 夫走加利利海邊時見西們同安得路厥弟兄拋網入海蓋伊等為捕魚者
- 3 【神】 Ma3-32 故眾圍坐語之曰卻爾母同爾弟兄們在外尋爾
【聖】 Ma3-32 時眾圍之坐告之曰夫爾母同爾弟兄們在外尋爾
- 4 【神】 Ma12-13 又伊等遣或法利西 # 輩同希羅氏亞輩就之欲獲其言錯
【聖】 Ma12-13 又伊等遣或法利西 # 輩同希羅氏亞輩就之欲得其講差
- 5 【神】 J11-5 夫耶穌愛馬耳大同厥妹及拉撒路
【聖】 J11-5 夫耶穌愛馬耳大同厥妹及拉撒路

上記の用例について、原典（英語）の該当部分は上から順にそれぞれ次の通りである。

- M10-15) Truly I tell you, it will be more tolerable for the land of Sodom and Gomorrah on the day of judgment than for that town.
- Ma1-16) As Jesus passed along the Sea of Galilee, he saw Simon and his brother Andrew casting a net into the sea — for they were fishermen.
- Ma3-32) A crowd was sitting around him; and they said to him, “Your mother and your brothers and sisters are outside, asking for you.”
- Ma12-13) Then they sent to him some Pharisees and some Herodians to trap him in what he said.
- J11-5) Accordingly, through Jesus loved Martha and her sister and Lazarus,

さらに、上記の用例は、モリソン改訳、BC 訳では次のように改められている。

書章節	モリソン改訳	BC 訳
M10-15	瑣頓及珂摩拉二邑比該邑之情形將尤寬貸也	所多馬與峨摩拉之刑較斯邑猶堪忍焉
Ma1-16	西門偕其兄安得烈兩人為漁	西門與其兄弟安得烈施罟於海
Ma3-32	慈母與兄弟在外尋爾也	爾母及爾兄弟在外尋爾耶
Ma12-13	後差離俗人同希羅得黨要以言網耶穌	後遣法利賽# 人與希律黨數人就之欲即其言以罟之
J11-5	耶穌愛馬大與其妹併拉撒路	耶穌愛馬大及其姊妹與拉撒路

(2) “與”の用例は以下のとおりである。用例はいずれも『神天聖書』と『聖經』の同一の章節のものを併せて挙げる。

- 1 【神】 M2-4 其既集諸祭者首與民之書士輩會問伊等及彌賽亞該在何處而生
【聖】 M2-4 其既集諸祭者首與民之書士輩會詢及伊等以基利士督應生於何處
- 2 【神】 M27-41 祭者首輩與書士及老輩者亦然曰
【聖】 M27-41 祭者首輩與書士輩及老輩者亦然戲笑之曰
- 3 【神】 Ma13-3 又其對堂坐阿利瓦山時彼多羅與者米士及若翰與安得路私問之曰
【聖】 Ma13-3 又其對堂坐阿利瓦山時彼多羅與者米士及若翰與安得路私問之曰
- 4 【神】 L13-28 爾將見亞百拉罕與以撒革與牙可百及諸先知者在神之國…
【聖】 L13-28 爾將見亞百拉罕與以撒革與牙可百及諸預知者在神之國…
- 5 【神】 J12-22 腓利百來告訴安得路又安得路與腓利百報耶穌
【聖】 J12-22 腓利百來告訴安得路安得路與腓利百報耶穌

上記の用例について、原典（英語）の該当部分は上から順にそれぞれ次の通りである。

- M2-4) and calling together all the chief priests and scribes of the people, he inquired of them where the Messiah was to be born.
- M27-41) In the same way the chief priests also, along with the scribes and elders, were mocking him, saying,
- Ma13-3) When he was sitting on the Mount of Olives opposite the temple, Peter, James, John, and Andrew asked him privately.
- L13-28) There will be weeping and gnashing of teeth when you see Abraham and Isaac and Jacob and all the prophets in the Kingdom of God, and you yourselves thrown out.
- J12-22) Philip went and told Andrew; then Andrew and Philip went and told Jesus.

さらに、上記の用例は、モリソン改訳、BC訳では次のように改められている。

初期中国語訳聖書における介詞と連詞の用法に関する一考察

書章節	モリソン改訳	BC訳
M2-4	故召祭司首人與民中書士等會議	乃集祭司諸長與民間士子
M27-41	祭司書士長老等譏笑亦然	祭司諸長與士子及長老亦如是戲之曰
Ma13-3	卻有彼得羅耶哥伯約翰安得烈等私問之曰	彼得雅各約翰安得烈竊問之曰
L13-28	當時將見亞伯拉罕以撒耶哥伯等偕諸聖賢在於神國	時爾見亞伯拉罕以撒雅各及諸預言者在神之國
J12-22	又安得烈同非立報耶穌矣	安得烈與非力轉告耶穌

(3) “及”の用例は以下のとおりである。用例はいずれも『神天聖書』と『聖經』の同一の章節のものを併せて挙げる。

- 1 【神】 M3-5 時耶路撒冷與通如氏亞及若耳但之四方出就之
【聖】 M3-5 時耶路撒冷與通如氏亞及若耳但之四方出就之
- 2 【神】 Ma5-37 且除彼多羅及者米士及者米士之弟兄若翰外其不許何人隨之
【聖】 Ma5-37 且除彼多羅與者米士及者米士之弟兄若翰外其弗許何人隨之
- 3 【神】 L8-20 且或報之曰爾母及兄弟在外欲見爾
【聖】 L8-20 或報之曰爾母及兄弟立外欲見爾
- 4 【神】 L23-13 彼拉多既聚祭者首輩與列憲及民
【聖】 L23-13 彼拉多既集祭者首輩與列憲及民
- 5 【神】 J1-44 夫腓利百乃為畢篩大安得路及彼多羅同邑之人
【聖】 J1-44 夫腓利百乃為畢篩大安得路及彼多羅同邑之人

上記の用例について、原典（英語）の該当部分は上から順にそれぞれ次の通りである。

- M3-5) Then the people of Jerusalem and all Judea were going out to him, and all the region along the Jordan,
- Ma5-37) He allowed no one to follow him except Peter, James, and John, the brother of James.
- L8-20) And he was told, “Your mother and your brothers are standing outside, wanting to see you.”
- L23-13) Pilate then called together the chief priests, the leaders, and the people,
- J1-44) Now Philip was from Bethsaida, the city of Andrew and Peter.

さらに、上記の用例は、モリソン改訳、BC 訳では次のように改められている。

書章節	モリソン改訳	BC 訳
M3-5	時由耶路撒冷及猶太全地並遶約耳但河諸方	斯時耶路撒冷舉猶太及約但四方
Ma5-37	且耶穌帶彼得羅及耶哥伯同弟約翰惟不准他人隨從也	乃於彼得雅各及雅各之兄弟約翰而外不許他人從之
L8-20	尊母兄弟外立欲見師矣	爾母及兄弟立於外欲見爾耶
L23-13	彼拉多召祭主民長等會	彼拉多既會祭司諸長有司與民
J1-44*	非立本邑在伯賽大即與安得烈彼得羅二人同邑也	腓力伯賽大人也與安得烈彼得同邑

*モリソン改訳及びBC 訳原書は「45 節」(J1-45)と表記しているが、原典に従った。

(4) “連” の用例は以下のとおりである。用例は『神天聖書』で“連” の用例があるものと、『聖經』の同一章節を併せて挙げる。

- 1 【神】 M5-45 …蓋其使太陽起向惡連善又使雨下與義連不義者之上也
【聖】 M5-45 …蓋其使太陽起向惡連善者又降雨與義連不義者之上也
- 2 【神】 M6-24 無人能服事兩主蓋其或愛一恨一或重一輕一爾不能服事神連財帛也
【聖】 M6-24 無人能事二主蓋其或愛一惡一或重一輕一爾不服事神及財帛也
- 3 【神】 M24-20 惟爾祈禱求致逃於冬天連不於撒百 # 日
【聖】 M24-20 惟爾祈禱不致逃於冬天並非於撒百 # 日
- 4 【神】 Ma6-38 其謂伊等曰爾有多少個餅去看伊等既得知曰五個連二尾魚
【聖】 Ma6-38 其謂伊等曰爾有幾個餅去看伊等既得知曰五個並兩尾魚
- 5 【神】 J15-24 …伊等則無罪但今伊等見而恨連我連我父者也
【聖】 J15-24 …伊等則無罪惟今伊睹而恨連我連我父者也

上記の用例について、原典（英語）の該当部分は上から順にそれぞれ次の通りである。

- M5-45) …for he makes his sun rise on the evil and on the good, and sends rain on the righteous and on the unrighteous.
- M6-24) …You cannot serve God and wealth.
- M24-20) …Pray that your flight may not be in winter or on a sabbath.
- Ma6-38) …they said, “Five and two fish.”
- J15-24) …But now they have seen and hated both me and my father.

初期中国語訳聖書における介詞と連詞の用法に関する一考察

さらに、上記の用例は、モリソン改訳、BC訳では次のように改められている。

書章節	四史攸編	神天聖書	聖經	モリソン改訳	BC訳
M5-45	日出于善惡之上 … 降雨于義不義之 上	太陽起向惡連善 … 雨下與義連不義 者之上	太陽起向惡連善 者… 降雨與義連不義 者之上	太陽照善惡者… 降雨滋潤義不義 之人	升其日於善者不 善者之上… 降雨於義者不義 者之上
M6-24	事神共事財	服事神連財帛	服事神及財帛	服事上帝兼圖財 帛	事神而兼事財貨
M24-20	—	冬天連不於撒百 #日	冬天並非於撒百 #日	冬天之時安息之 日	冬時及安息日
Ma6-38	—	五個連二尾魚	五個並兩尾魚	餅五個魚兩尾	五餅二魚
J15-24	恨余並恨余父	恨連我連我父者	恨連我連我父者	且惡連我與父矣	今其於我及我父

3 小結

本稿の考察を通して、『聖經直解』以降の初期中国語訳聖書の翻訳文中における介詞と連詞の特徴について以下のようにまとめることが出来よう。

- (1) まず、介詞については、『聖經直解』から『聖經』までの4書では一貫して、“同”と“與”のみが使われており、その他“和”をはじめとする白話的な語彙は使われておらず、文言としての傾向が強いと言える。
- (2) つぎに、連詞も加えて見てみると、最初に、『聖經直解』では、“及”に用例が限られていることから、基本的に介詞には“同”と“與”，連詞には“及”というふうに使い分けがあったと考えられる。
- (3) さらに、『四史攸編』になると、“與”に連詞としての用法が加わり、“及”と同じ頻度で併用されるようになる。“與”と“及”の両者による使い分けはなく、同じように使われている。但し、“同”は依然として介詞としての用法しか持っていない。
- (4) 最後に、『神天聖書』と『聖經』になると、“同”にも連詞としての用法が加わり、用例数では“與”と“及”の10分の1程度と少ないものの、“同”，“與”，“及”の3者は同じように連詞として用いられるようになった。また、連詞“連”が『神天聖書』と『聖經』で、各々13例、15例あった。とくに“連”を連用して「～も…も」の意を表すといった、『紅樓夢』(第93回)の“包管明兒連車連東西一併送來。”の如く、当時の白話作品にも見られる用法もあった。しかし、むしろ一般的である白話の連詞である“和”と“合”は、いずれの聖書でも見られなかった。連詞に関しても、やはり文言的な特徴をもっていたと言える。

注

- (1) 本稿では英語訳文をギリシャ語原典との対訳である *THE INTERLINEAR NRSV-NIV PARALLEL NEW TESTAMENT IN GREEK AND ENGLISH* (1993) から引用した。英語訳の主なものとしては、この他に *The New Greek-English Interlinear New Testamant* (1990), *THE BIBLE AUTHORIZED KING JAMES VERSION WITH APOCRYPHA* (1997) がある。また、ラテン語ブルガタ訳聖書 *The Vulgate New Testament, with the Douay Version of 1582* (1872) の対訳英文も、聖書の中国語訳の系譜からみて、特に参考にすべきものとして挙げる事ができる。

聖書原典資料

『聖經直解』(『天主教東傳文獻』台湾学生書局 1972)

『四史攸編』(大英図書館蔵)

『神天聖書』(1) ゆまに書房 1999 「幕末邦訳聖書集成」(2) (大英図書館蔵)

『聖經』(フランス国立図書館蔵)

『救世主耶穌新遺詔書』(大英図書館蔵) モリソン改訳

『新約全書』上海美華書館 1864 (愛知大学図書館蔵) ブリッジマン・カルバートソン (BC) 訳
聖書英語訳

1993 *THE INTERLINEAR NRSV-NIV PARALLEL NEW TESTAMENT IN GREEK AND ENGLISH*,
Zondervan Publishing House, Alfred Marshall